

☆市民活動をFMラジオで発信☆ 『つなげよう！市民のチカラ！』

○第71回：2021年5月23日（日）

○ゲスト：社会福祉法人千年会

まちづくり推進班長 井澤 淳（イワ アツ）さん



写真：井澤さん

○ 放送内容

今回の放送では、社会福祉法人千年会 まちづくり推進班長 井澤 淳さんをお招きしました。千年会では現在、福祉施設としての知識・経験・資源を生かし、“「みんなの食堂」おいでえーる”を運営しています。井澤さんには、この事業を始めたきっかけや活動内容、今後の展望などについてお話をさせていただきました。

◆ 地域のために自分たちにできること

千年会では地域貢献・地域共生の観点から、地域住民が集まれる機会を作れないか？、法人が運営する障害者施設で働く栄養士、看護師、理学療法士といった、様々な専門職スタッフが持つ知識を地域に還元することはできないか？と考えました。そして、法人の強みでもある「食事の提供」を活かし、子どもから高齢者まで幅広い世代と一緒に食事をする「共食の場」を提供することとしました。

青森県の「令和2年度「みんなの食堂」運営モデル実証業務」の採択を受けて令和2年8月から運営を開始し、令和3年4月からは弘前市の市民参加型まちづくり1%システム支援事業を活用して運営を継続しています。

◆ 様々な状況に柔軟に対応

主な活動として千年交流センターで月2回、りんごやマグロ、長芋などの県産食材を使った調理体験や栄養相談等を行っています。当初は子どもを中心に親子の参加が多いと想定していましたが、実際は高齢者の参加が多く、実施内容（調理実習や栄養相談、健康相談）を高齢者向けに変更するなどの対応をしています。また、今年度は新型コロナウイルスの影響で、4・5月は交流センターに集まったの活動ができなかったため、代わりに参加者にお弁当を配り、参加者の皆様の近況の確認や外出していただく機会創出を行う等、状況に応じて臨機応変に対応しています。6月以降は開催予定ではありますが、市内の感染状況から慎重に判断し、企画内容等を工夫していきたいとのことでした。

◆ みんなが活躍できる場に

今後は、子どもたちが多く参加できるようなイベントを企画するそうです。さらに、参加している高齢者が「支えられる側から担い手」になっていくことも目指しています。参加者の中には、まだまだ元気に体を動かせる方も多く、そういった方々が、子ども向けイベントにボランティアとして参加し、活躍できる場になれば、とお話しされていました。